

社会的養護の子どもたち



～医療と施設と児童相談所の連携を考える～

社会的養護の子ども達は、誰もが愛着障害を持っていると言っても過言ではないでしょう。その表現方法は施設職員の傍から離れないとか、逆に人との関わりを求めているのに、あえて距離を置いてしまう等 100人 100様です。

また愛着障害だけでなく、加えて軽度知的障害や発達に様々な課題を抱える子ども達が増えている現在、日々の生活を支える施設職員や児童相談所職員等は、様々な困難に直面している子ども達への対応や支援に、日々苦慮し、支援者は疲弊して、現場が混乱する場面が増えていると聞きます。

田中康雄先生は、児童精神科医師の立場から児童養護施設、児童自立支援施設、児童心理治療施設、自立援助ホーム等の施設現場に長年にわたり実践的に関わっておられ、「こころとそだちのクリニック むすびめ」院長としても、多くの臨床現場のご経験からも「愛着障害や発達障害のある子ども達を支援するには、善意と愛情だけでは難しく、一人ひとりにある特性も正しく把握しておく必要があるだけでなく、機関連携の重要性を再考すべきである。」と言われています。今年度は第Ⅰ部で田中康雄先生にご講演頂き、第Ⅱ部では、皆様の質疑に対して具体的にスーパーバイズを頂きます。一人でも多くの皆様がたくさん充電して、明日の支援に役立てて頂きたく、ご参加を心よりお待ちしております。

＊とき 令和元年10月26日(土) 12:30～16:00 (受付 12:00～)

＊ところ ホテル アウィーナ大阪 4階 金剛

〒543-0031 大阪市天王寺区石が辻町19番12号

☎ 06-6772-1445

第Ⅰ部 講演

12:30～14:30

講師：こころとそだちのクリニック むすびめ 院長
北海道大学名誉教授・児童精神科医

コーディネーター：いぶき法律事務所 弁護士

第Ⅱ部 質疑&スーパーバイズ

14:45～16:00

田中 康雄 氏

岩佐 嘉彦 氏

講師プロフィール

こころとそだちのクリニック むすびめ 院長。北海道大学名誉教授。

児童精神科医師。臨床心理士。

市立士別総合病院精神科神経科医長、北海道立緑ヶ丘病院医長、

国立精神・神経センター精神保健研究所 児童・思春期精神保健部児童期精神保健研究室長、

北海道大学大学院教育学研究科教授、北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター教授

などを経て、2012年5月より こころとそだちのクリニック むすびめ 院長。

児童精神医学・臨床教育学を専門領域とし、「生活の困難さを修復するものの解明」を主な研究テーマとして

いる。主な著書に『支援から共生への道 発達障害の臨床から日常の連携へ』（慶應義塾出版会）、『発達支援の

むこうとこちら』（日本評論社）、『イラスト図解 発達障害の子どもの心と行動がわかる本』（西東社）、

『『大人の発達障害』をうまく生きる、うまく活かす』（小学館新書）、『ADHDのある子を理解して育てる本』

（学研プラス）ほか多数。※当日、会場受付にて書籍を販売致します。（冊数に限りがございます）



田中 康雄 氏

＊参加費 2,000円（資料代込）

＊申込み 裏面の申込書に必要事項をご記入の上、事務局宛に**ファックス**でお申し込み下さい。

FAX 06-6765-3402

＊定員 100名（先着順）

＊締切日 令和元年10月10日（木）

定員をオーバーしたときのみご連絡を申し上げます。

ご連絡のない場合は、当日直接ご来場下さい。

—事務局—

社会福祉法人大阪児童福祉事業協会 アフターケア事業部

TEL06-6765-3400

担当 伊藤 織屋



■近鉄「大阪上本町」駅⑭出口より南東へ進む（徒歩約3分）

■地下鉄谷町線「谷町九丁目」駅より地下通路を上本町方向、⑧番出口に向かって進み、上本町駅⑩番出口より南東へ進む（徒歩約8分）